

# 個人投資家向け説明会

2023年12月14日（木）



三菱食品

証券コード 7451

# 本日のポイント

---

## 会社概要/事業内容

---



社会インフラとして、**食のサプライチェーンの中心的役割**を担い、日本の食文化の維持・発展に貢献する会社です。

## 事業戦略

---



**データ×デジタルマーケティング、物流事業、海外事業**等を成長戦略として見据え、更なる機能向上を目指しています。商品開発も更なる充実を目指しています。

## 業績と株主還元

---



社会環境の変化を捉え**収益は一段上のステージへ**積極的な株主還元を実施(**3期連続増配中**)

1. 会社概要／事業内容

2. 事業戦略

3. 業績・株主還元

# 会社概要

【沿革】三菱商事系の食品卸4社が2011年に経営統合し、フルカテゴリー・フルエリア化を実現

2011年経営統合



- ◆ 商号 三菱食品株式会社
- ◆ 設立 1925年3月 ((株)菱食の創業)
- ◆ 資本金 10,630百万円 (2023年3月末現在)
- ◆ 証券コード 7451 (東証スタンダード)

(株)菱食

創業：1925年

加工食品、低温食品、  
酒類に強み

明治屋商事(株)

創業：1885年

加工食品、酒類に強み

(株)サンエス

創業：1935年

特徴：菓子に強み  
(専業卸)

(株)フードサービスネットワーク

創業：2002年

特徴：低温物流に強み

# 数字で見る三菱食品

## 売上高



1兆**9,968**億円

(2023年3月期)

## 経常利益



**252**億円

(2023年3月期)

## 当期純利益



**171**億円

(2023年3月期)

## ROE



**9.7**%

(2023年3月期)

## 年間配当



**110**円

(2023年3月期)

## 拠点数

(本包含む)

### 物流拠点

国内**389**拠点

海外**17**拠点

(2023年3月末時点)

### 営業拠点

国内主要**17**拠点

海外**3**社

## 取引先数



メーカー

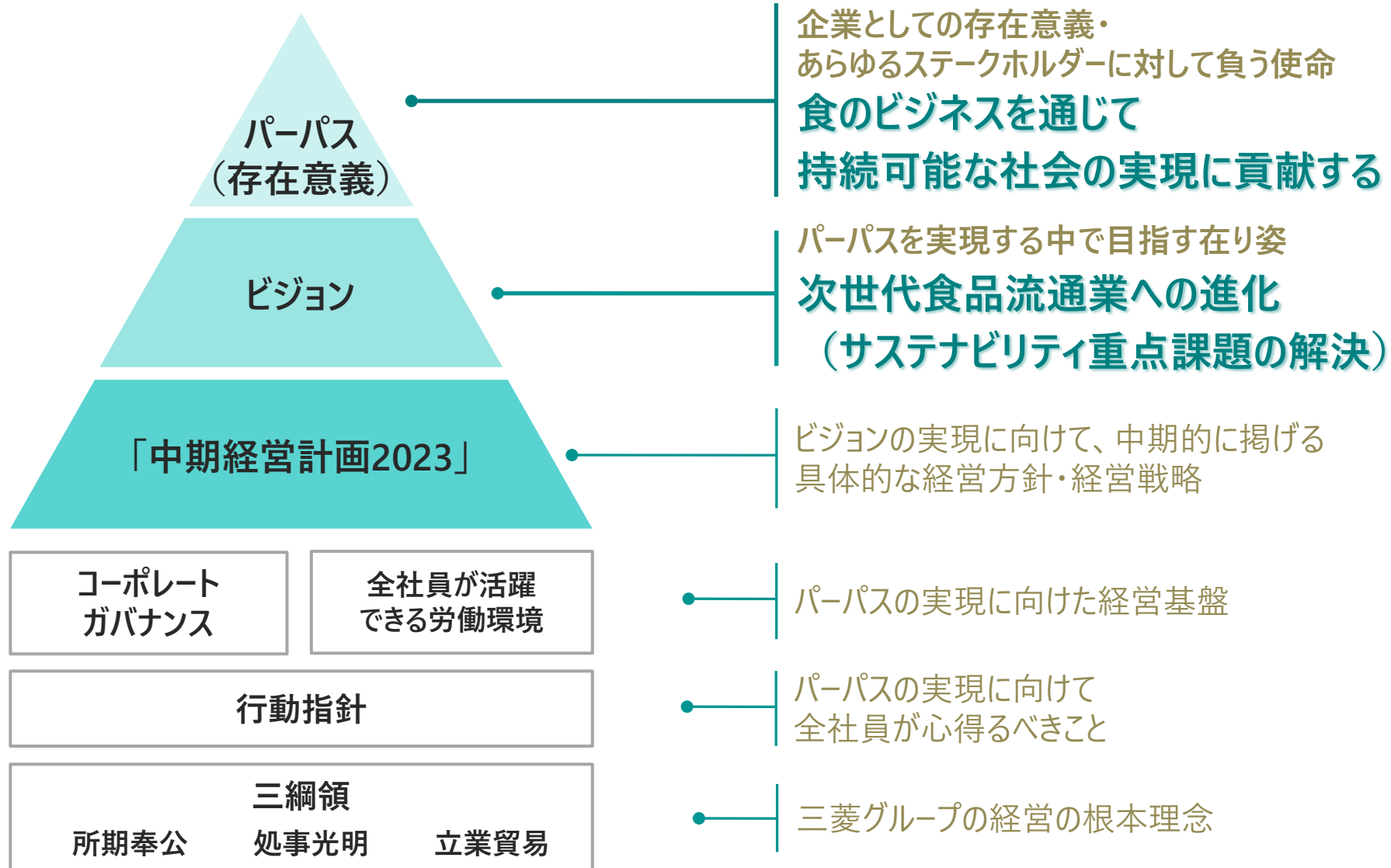
約**6,500**社



小売業・外食産業

約**3,000**社 **16**万店舗

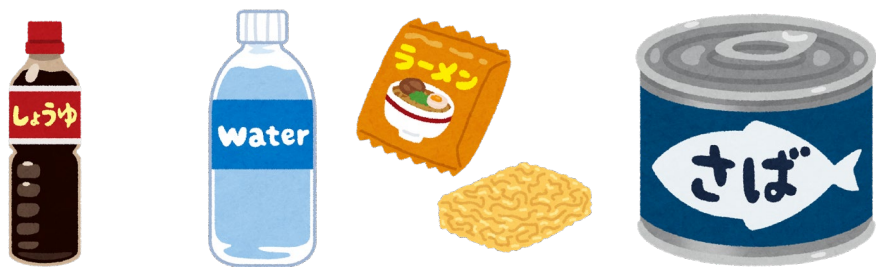
# 目指す在り姿



# 事業セグメント紹介

## 加工食品事業

- ・調味料、飲料、ラーメン、缶詰等を取り扱う
- ・オリジナル商品の「からだシフト」をはじめ、Barilla等の輸入商品も強化



## 低温食品事業

- ・冷凍食品、アイスクリーム、チルド、惣菜用、外食チェーンの業務用商材等を取り扱う
- ・オリジナルのミールキットや冷凍デザート等も開発



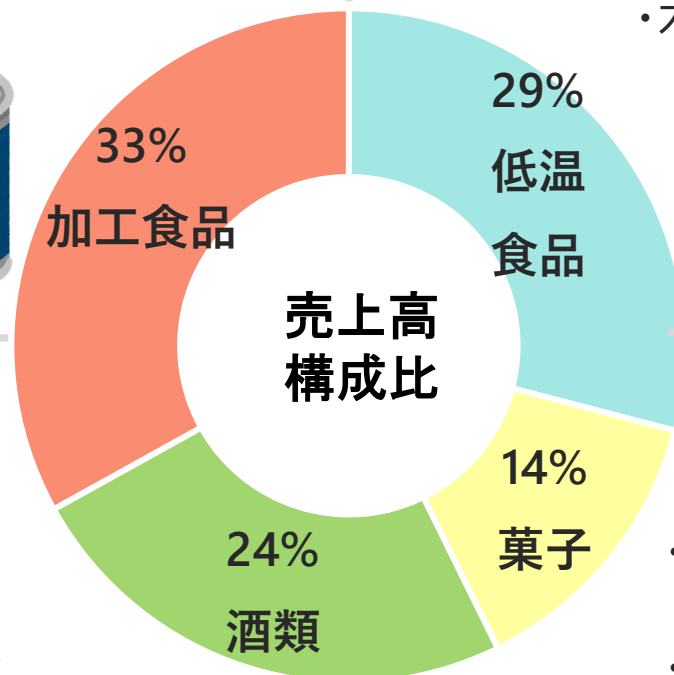
## 酒類事業

- ・ビール、缶チューハイ、日本酒、ワイン、ウイスキー等を取り扱う
- ・セグラヴェーダス等の輸入品や国産オリジナル商品の開発にも力を入れている



## 菓子事業

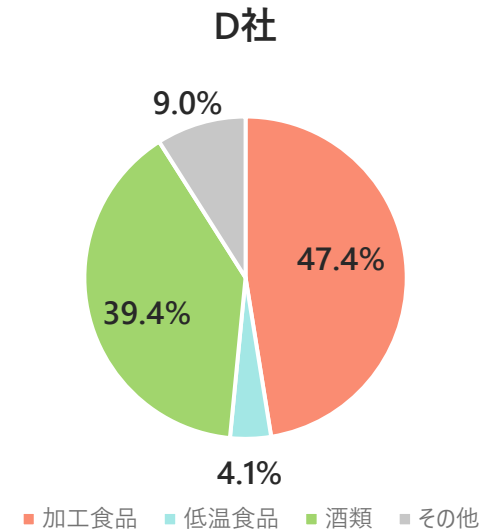
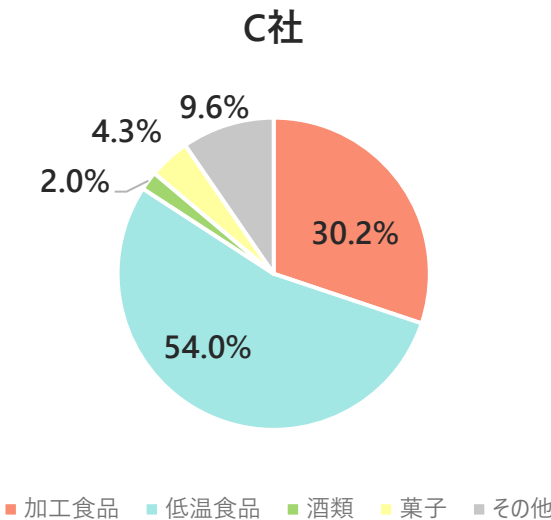
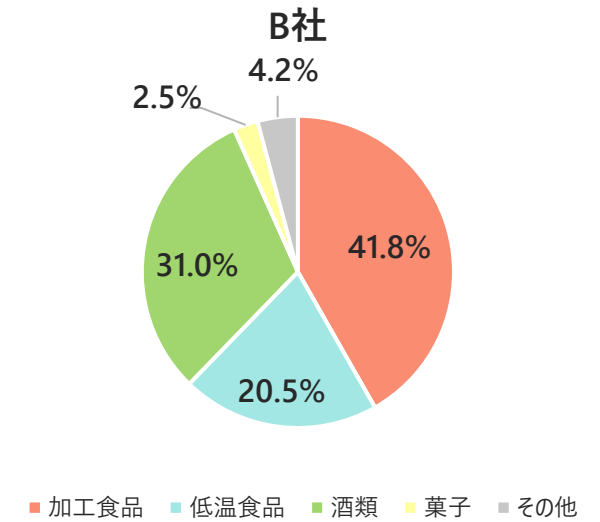
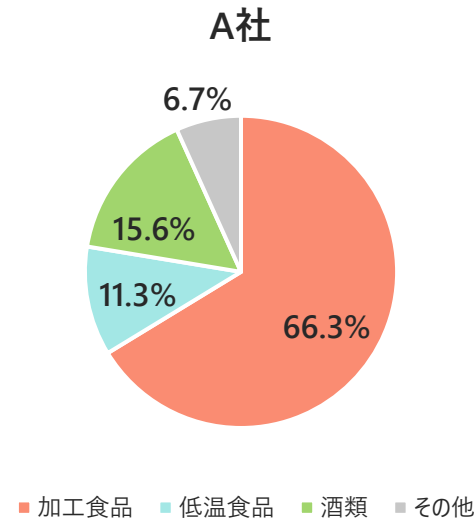
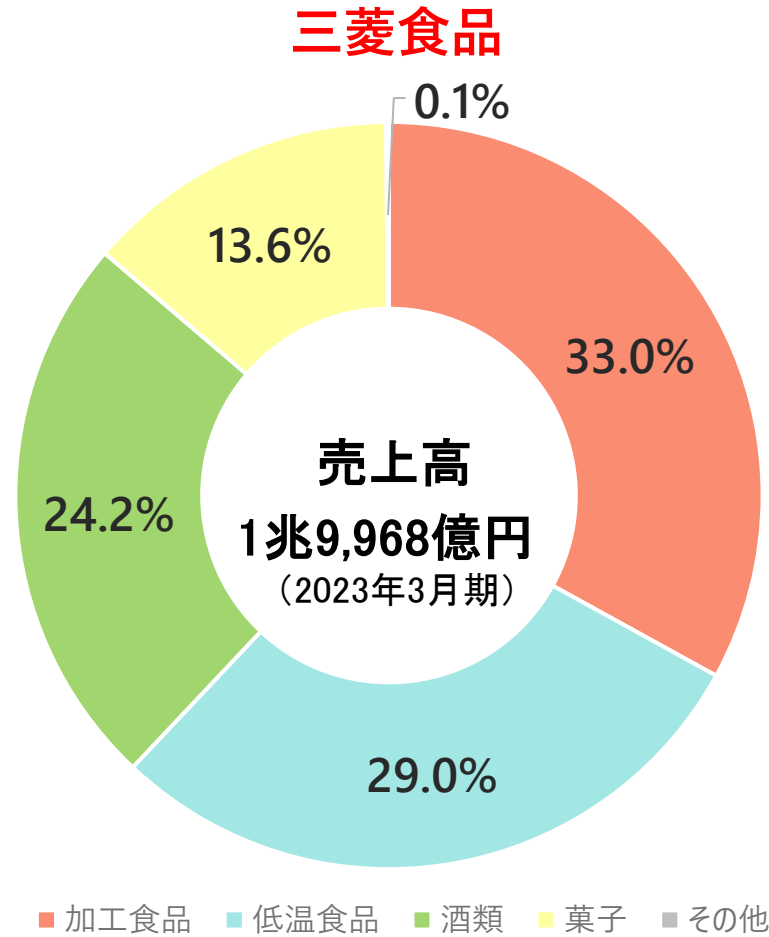
- ・チョコレート、スナック、キャンディ等、菓子全般を取り扱う
- ・HARIBO等の輸入商品の販売、かむかむ等のオリジナル商品を強みにもつ



売上高  
構成比

# カテゴリーごとの食品卸の売上高構成比

同業他社と比較して全カテゴリーバランスよく取り扱いがあり、かつ全カテゴリー売上高上位に位置する

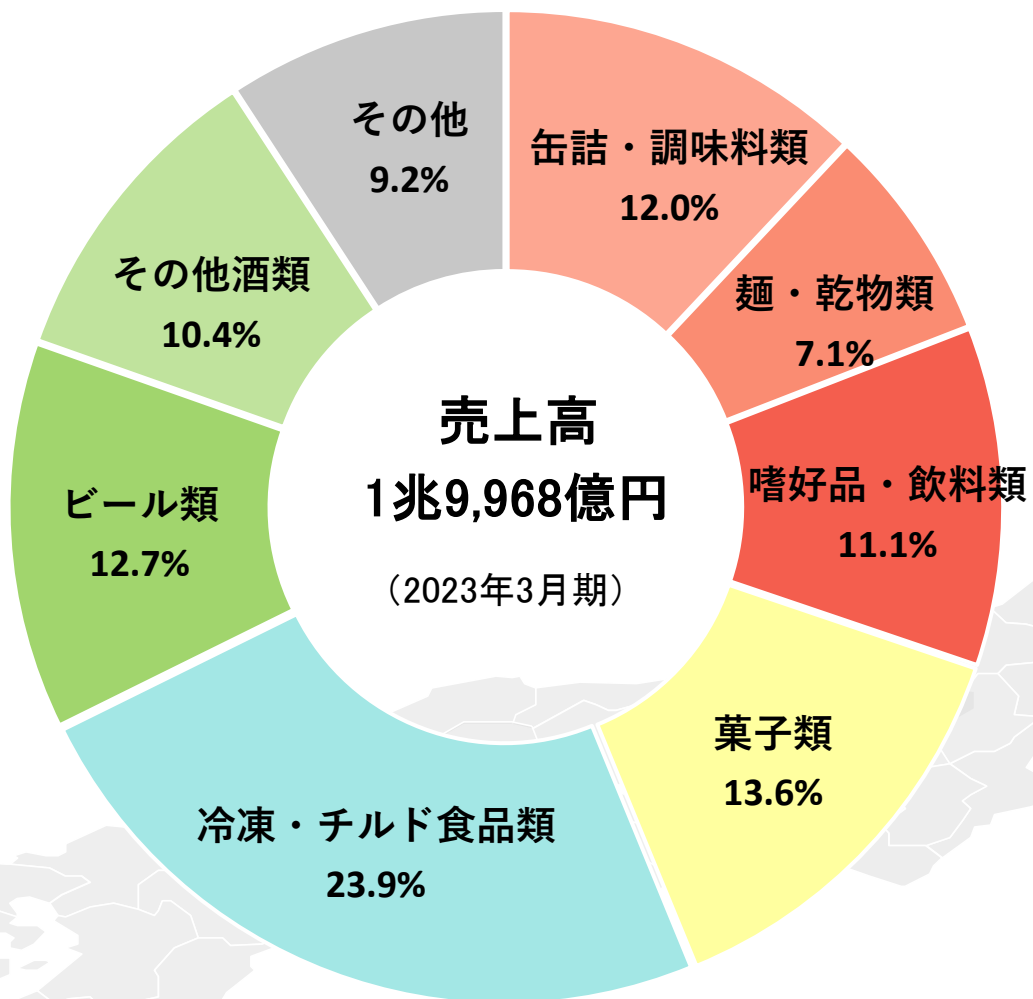


注：各社売上高構成比は2022年度。一部企業の売上高は収益認識基準適用前  
出所：各社決算説明資料、HPより当社作成

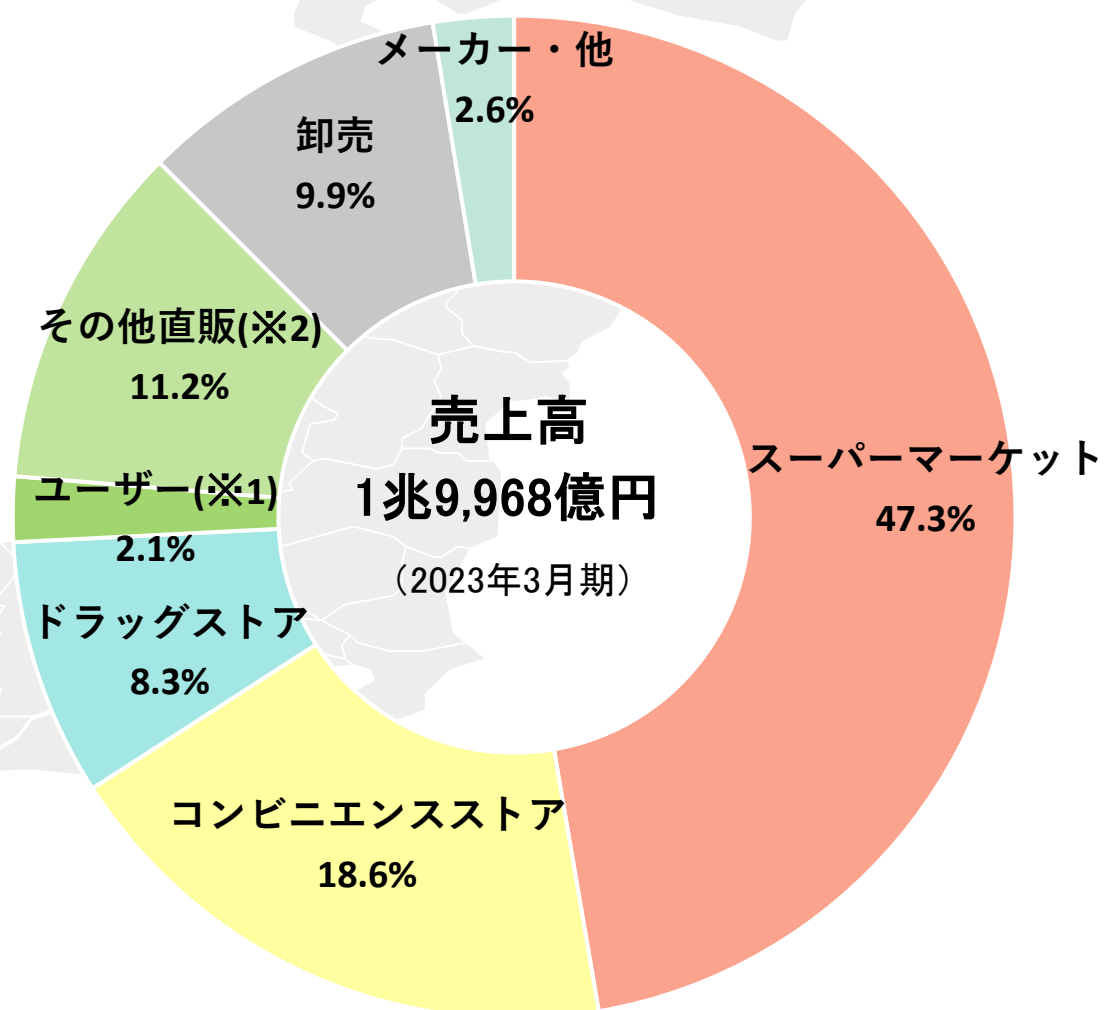


# フルカテゴリー・フルチャネル・フルエリアをカバーする三菱食品

## 品種別



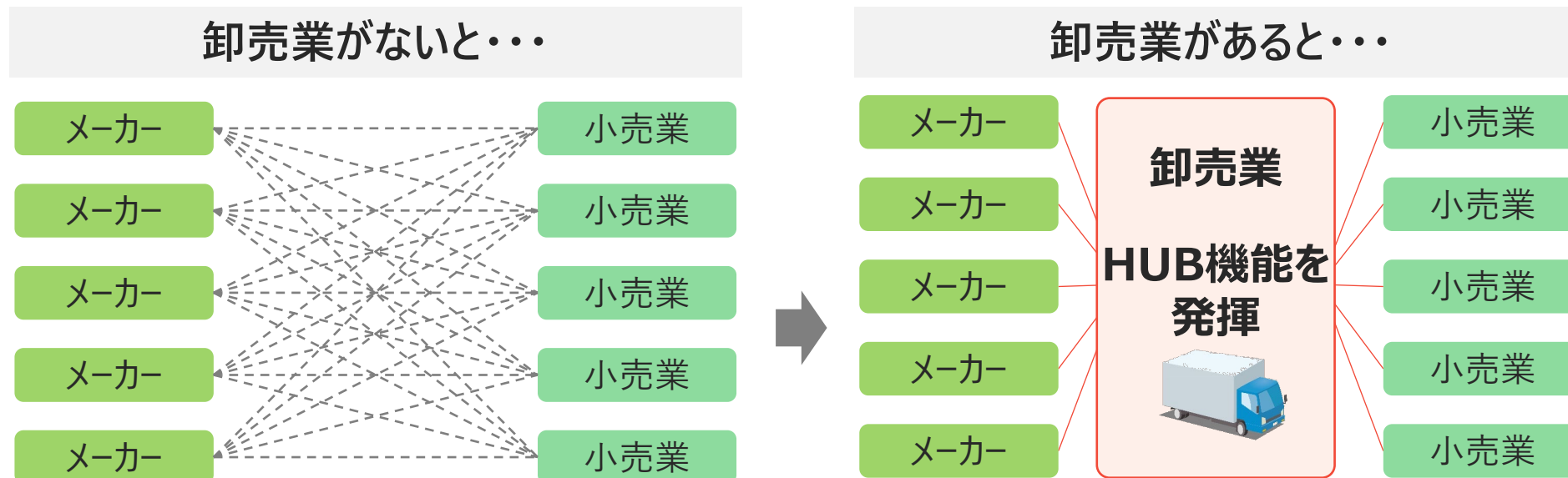
## チャネル別



※1：ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者  
 ※2：その他直販はディスカウントストア・EC事業者・ホームセンター・百貨店等

# 卸売業がある流通

卸売業がHUB機能を発揮することで物流、受発注、決済、商品情報など、高効率でシンプルなりレーションを実現



## 三菱食品が誇る物流ネットワーク

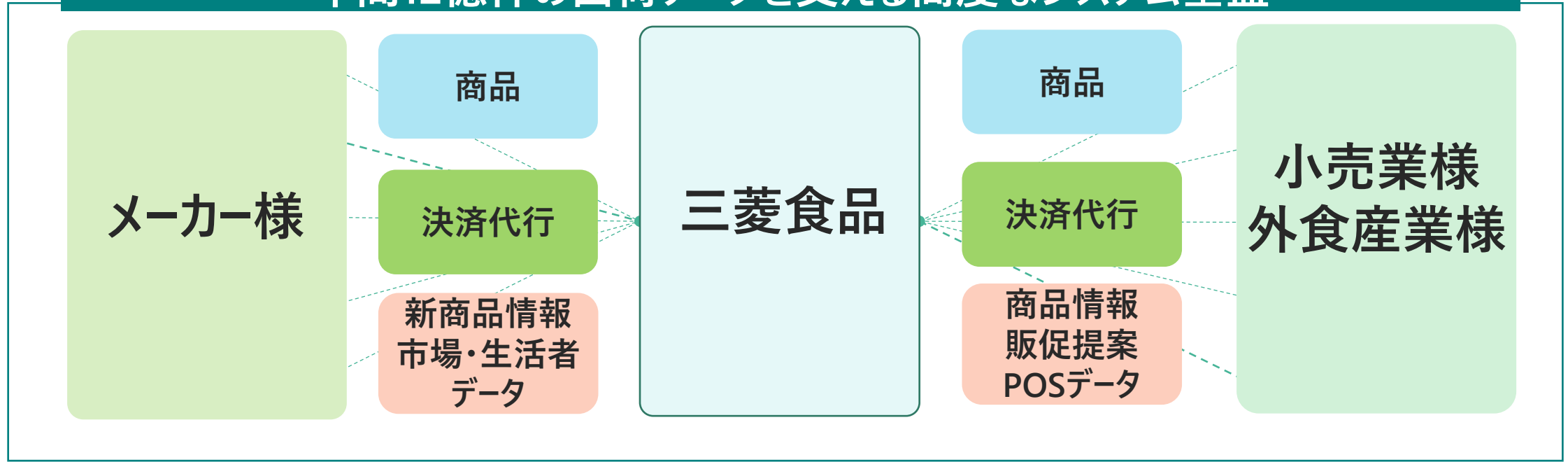
物流拠点 約400拠点	車両台数 入庫 約12,500台 配送 約 7,000台	人員体制 社員 約1,500名 庫内作業員 約2万名 配送ドライバー 約1万名	物流パートナー企業 約400社
----------------	------------------------------------	--	--------------------

強固な物流ネットワークを武器に、食のライフラインを支える業界のリーディングカンパニー

# 三菱食品の役割

食のサプライチェーン全体の最適化・効率化を支え、最終的には生活者へ低コストで食の供給を実現し、自然災害やパンデミックなどの有事にも、ライフラインを支えるリーディングカンパニーとしての役割

年間12億件の出荷データを支える高度なシステム基盤



メーカー様への収益貢献

効果

効率的な商品拡販  
販管費の抑制

当社への収益貢献  
+ 知見の蓄積

効果

市況変化に強く  
安定的な収益確保  
新事業への展開  
(ビッグデータ活用)

小売業様への収益貢献

効果

魅力ある売り場展開  
による顧客獲得  
販管費の抑制・資金繰り

1. 会社概要／事業内容

2. 事業戦略

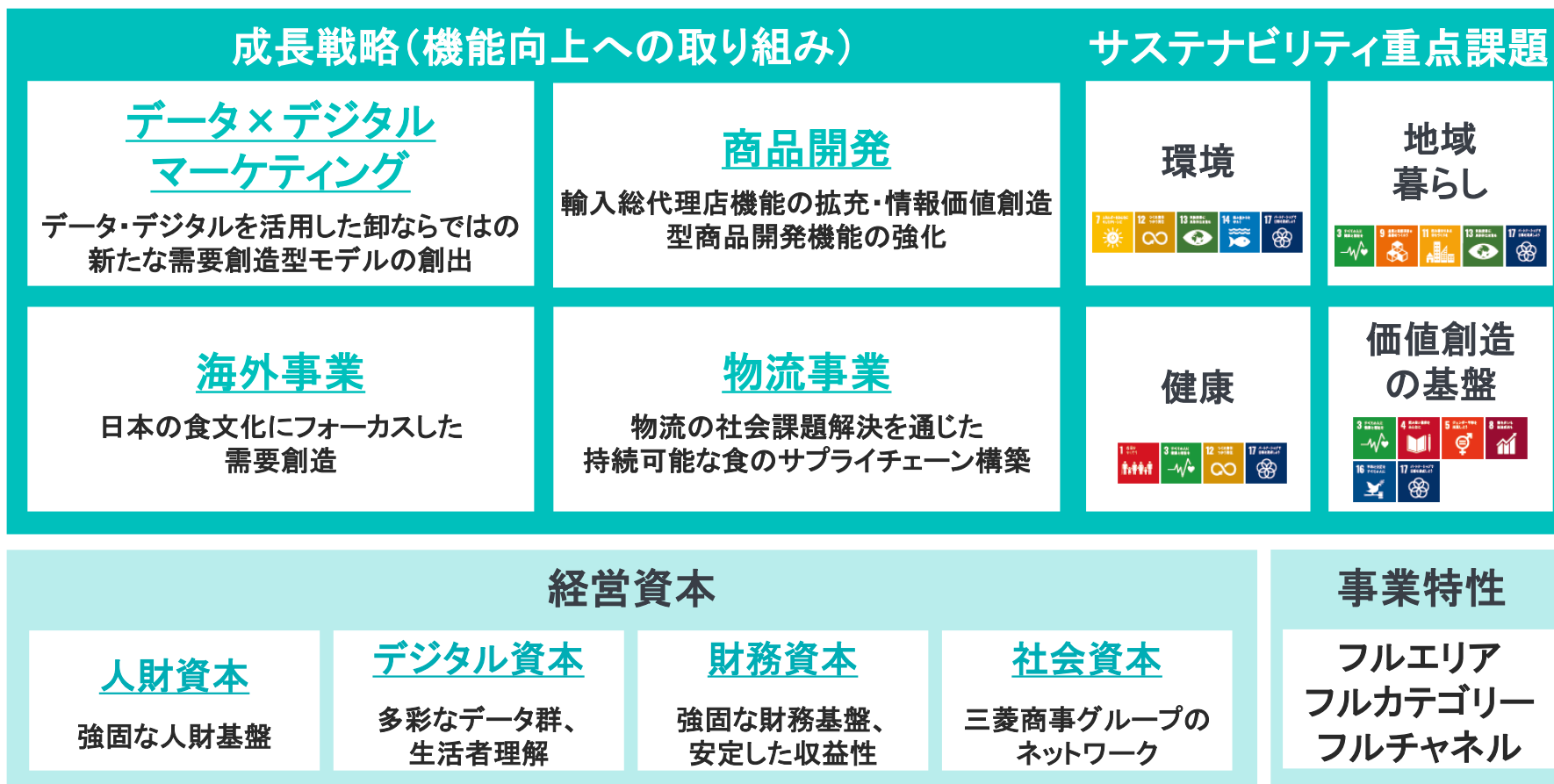
3. 業績・株主還元

# 三菱食品の事業戦略

成長戦略とサステナビリティ重点課題への取り組みを同時に推進し、持続可能な社会の実現に貢献する

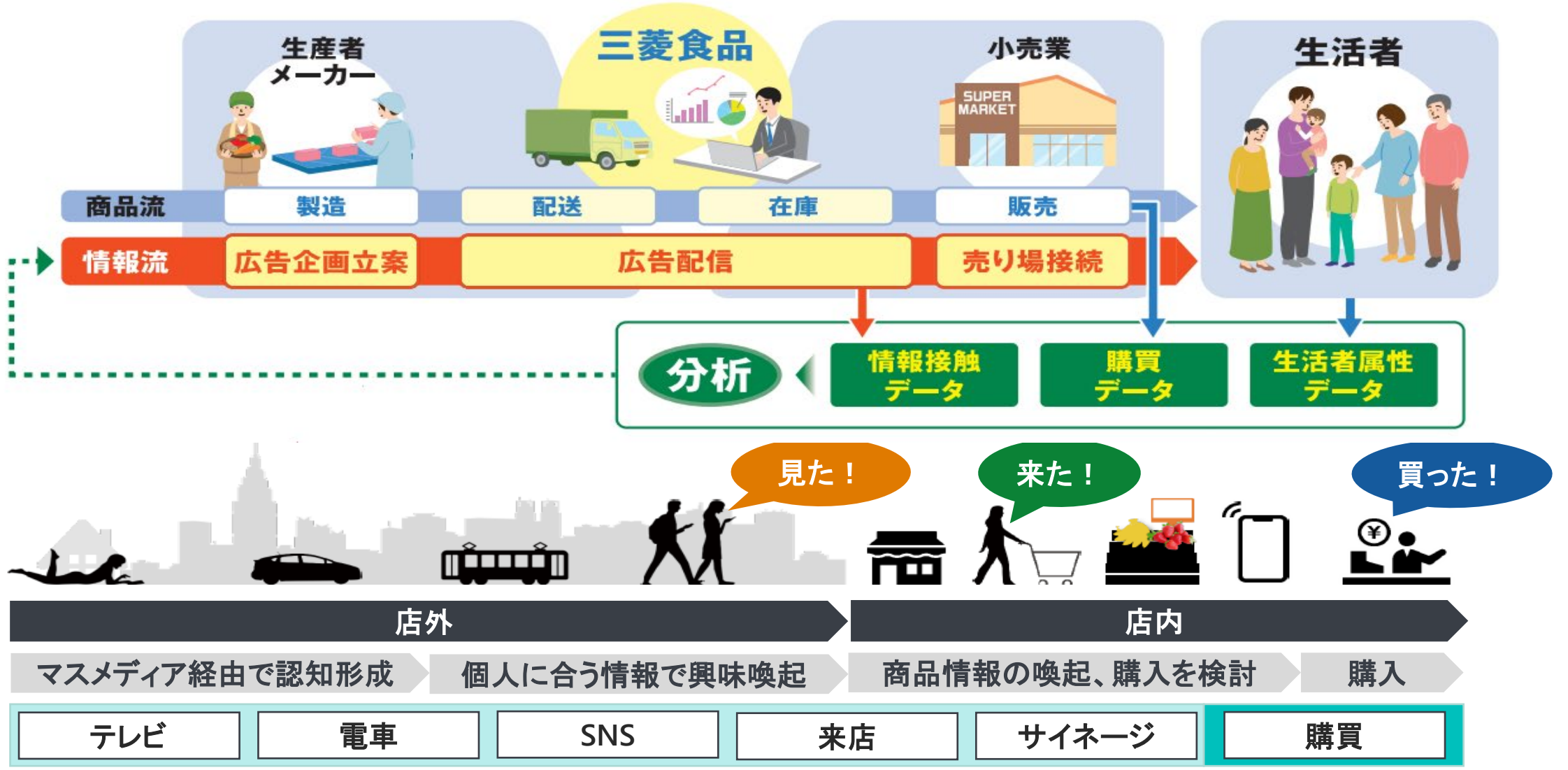
**パーパス： 食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する**

**成長戦略**  
・  
**サステナビリティ  
重点課題**



# データ×デジタルマーケティング

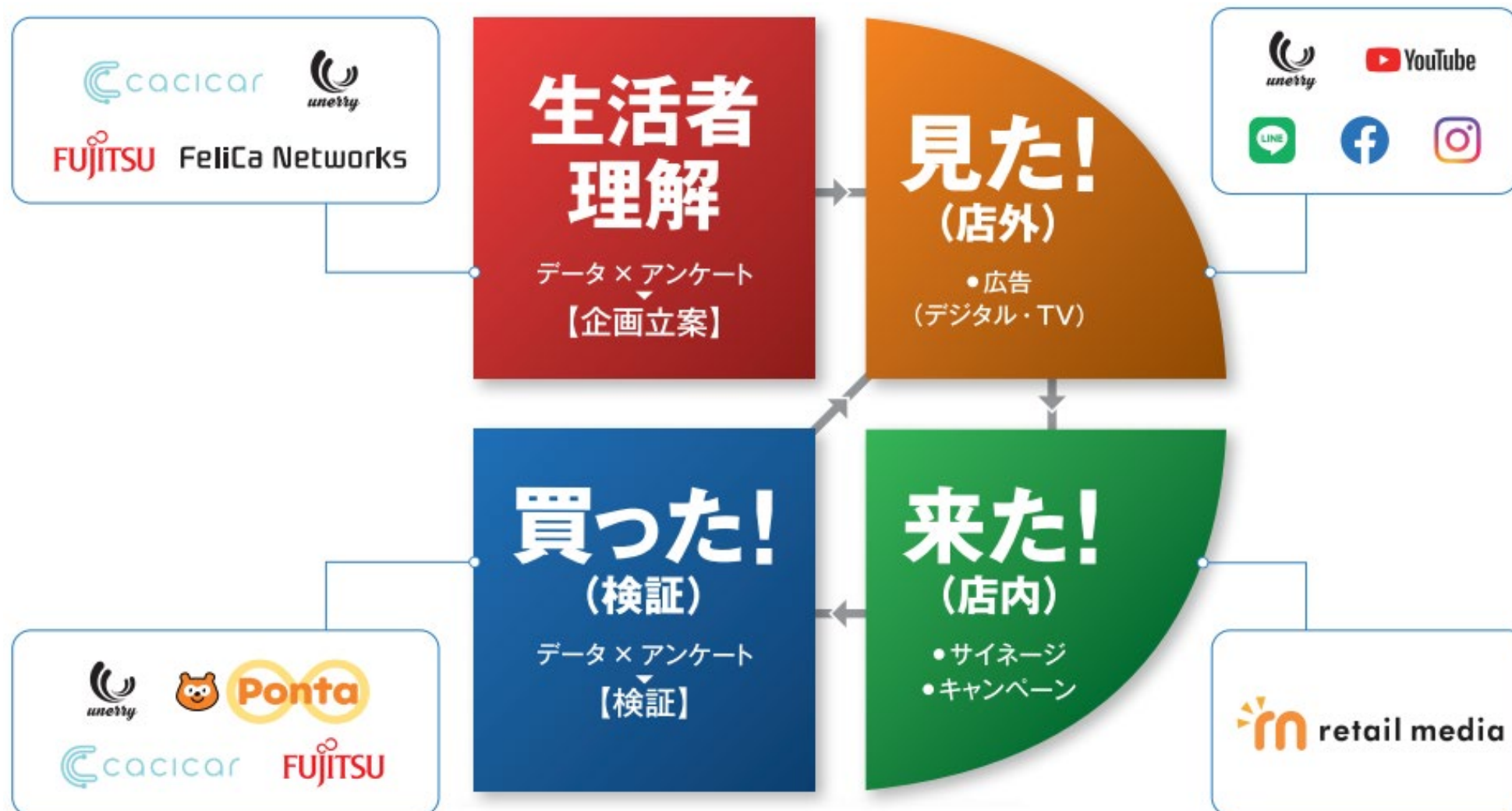
データ×デジタルマーケティングプラットフォーム構築による機能強化により、生活者ニーズを捉えたデジタル広告販促企画を提供



# データ×デジタルマーケティング

新たな顧客体験を生み出し、メーカー様・小売業様に対して「課題の解決」と「付加価値」を提供

一気通貫かつ継続性のあるデータ×デジタルマーケティングソリューション



# 生活者ニーズに即したオリジナル商品開発

## 健康

「おいしく、続けられる。からだシフト」



“糖質コントロール”



“PROTEIN PLUS”



“Happiness腸活”



## 世界トップブランドの輸入



## 独自性の高いプライベートブランド

噛んで食べる  
チューイングキャンデー



かむかむ

紹興酒入り  
ハイボール

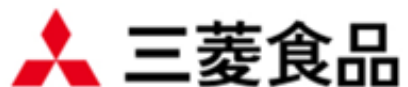
「ことりっぷ」コラボ  
地域果汁を使ったサワー





# 海外事業の強化

従来の輸出に留まらず、小売・外食・製造・物流などの事業領域の拡大  
海外事業の拡大により、海外有望市場における現地での需要の取込/創出を実現



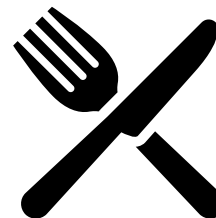
海外現地  
有力企業

小売



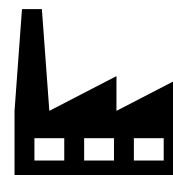
小売パートナー企業様との  
海外店舗展開

外食



和食にフォーカスした  
テーブルメニューの展開

製造



現地ニーズに根差した  
現地製造および販売

物流



アジア地域を中心とした  
コールドチェーンの構築

# 海外事業の強化（三菱食品が目指す将来像）

三菱食品が持つ  
地域創生プラットフォームを  
活かした和食資源の  
輸出最大化



日本の食文化の拡大  
= エリアの拡大



「輸出×インバウンド」の  
組み合わせによる  
「和食経済圏」の拡大



和食への関心が高い  
訪日外国人の増加



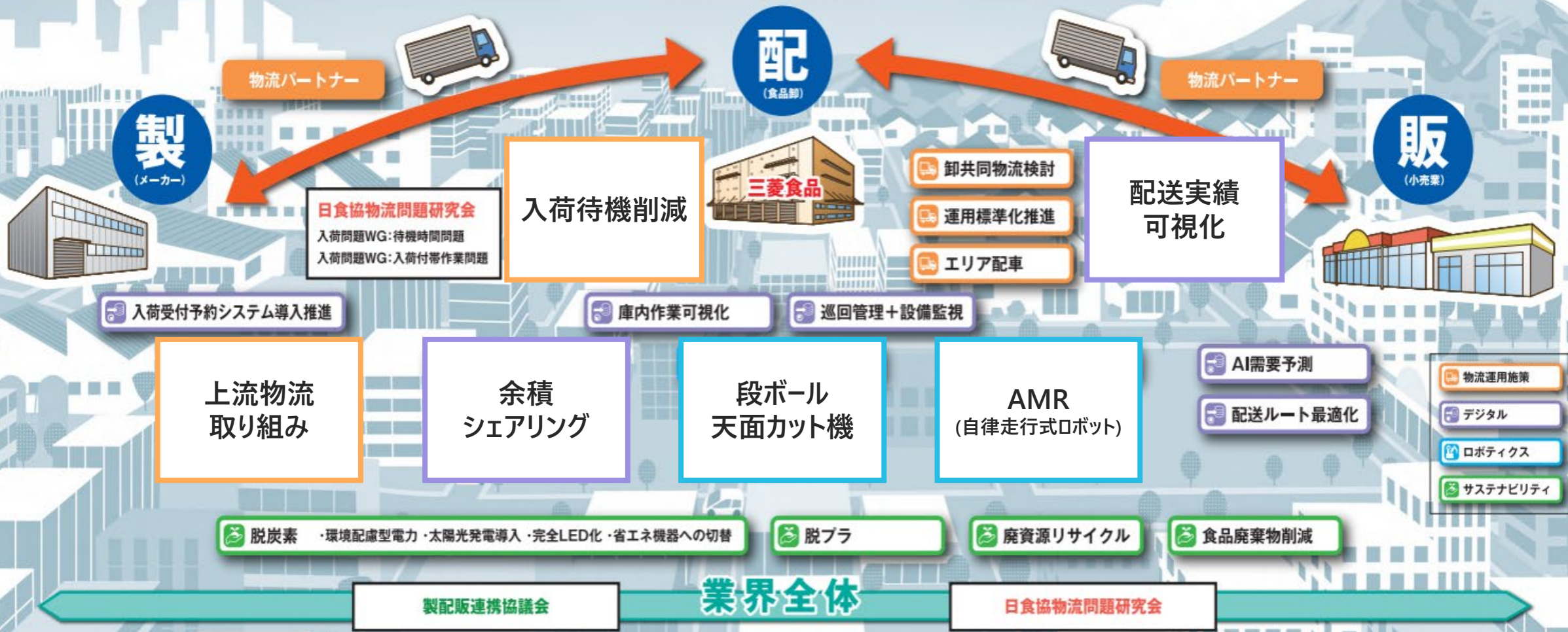
インバウンドによる国内消費の  
拡大  
= 規模の拡大

輸出を起点にした地域活性化・インバウンドの拡大

三菱食品のアクション × 業界全体のアクション



## 限られたリソースを有効活用して物流をイノベーション!



# 物流機能の向上（具体的な取り組み）

## 物流の社会課題解決を通じた持続可能なサプライチェーンの構築

### Hacobuが提供する動態管理システム導入

3,500台のトラックに導入し、車両積載率の向上及び配送効率の最適化  
データ活用でエリア最適配車を目指し  
積載率向上・CO2排出量削減へ

動態管理サービス  
「MOVO Fleet」  
3,500台導入



輸配送データの  
分析・活用



最適配車の実現



2024年問題対応

### 遠隔監視システム

センター管理の**効率化**



### 積替え自動化<デパレタイザー>

冷凍センターにおける**重労働負荷軽減**



### 小分け作業効率化<マルチピック>

煩雑な小分けピックの**効率化**



# 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

2050年カーボンニュートラルの実現を掲げ、サステナビリティ重点課題と2030年目標を引き上げ

## サステナビリティ重点課題

## 2030年目標

### 環 境



### 地域・暮らし



### 健 康



### 価値創造の基盤



パートナーシップ&イノベーション

- ✓ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO2排出量（※）を2016年度対比60%削減します。
- ✓ 食品廃棄量を2016年度対比50%削減します。
- ✓ プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用します。

- ✓ 強靱で持続可能なサプライチェーンを構築します。
- ✓ 地域課題の解決と地域貢献に資する商品・サービスの創出／拡充を行います。

- ✓ 健康課題の解決と健康に資する商品・サービスの創出／拡充を行います。

- ✓ 個性を尊重し、能力、適性を活かし健康的に活躍できる組織風土の醸成とエンゲージメントの向上を実現します。

※Scope 1（事業者自らによる温室効果ガスの直接排出）及び  
Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）による排出量

# 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を2016年度対比で60%削減

三菱食品はCO<sub>2</sub>排出量を削減しながら商品をお届けしています



2024年問題対応

**入荷受付**

**予約システム導入**

入荷待機時間の可視化と  
予約により待機時間削減



2024年問題対応

**入荷検品  
効率化協業**



**環境配慮型  
電力への切り替え**



**営業車へのHV車導入**

START



メーカー(工場)

三菱食品はCO<sub>2</sub>排出量を削減しながら商品をお届けしています

GOAL



小売業(店舗)

**ペーパーレス化  
リサイクル化**

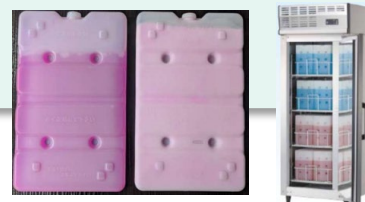


2024年問題対応

**納品与件緩和**



**ドライアイスから  
蓄冷材への切り替え**



**EVトラックの導入**



# 持続可能な社会の実現に向けた取り組み

2021年から災害用備蓄食料の寄贈を実施

今回は備蓄食料2,111セットを寄贈、その中で福岡フードバンクを通じ7月の大雨で被災した九州の団体へも寄贈

2023年7月は  
計2,111セット  
**6,333食分**を寄贈！



2021年6月  
リサイクル  
備蓄食料 6.4t

2022年2月  
寄贈  
備蓄食料 8.5t  
(累計14.9t)

2022年6月  
寄贈  
備蓄食料 約2.7t  
(累計17.6t)

2023年7月  
寄贈 (今回)  
備蓄食料 2.9t  
(累計20.5t)

北海道支社  
489セット



北海道及び愛知県の  
子ども食堂へ寄贈!!

中部支社  
302セット

九州支社  
534セット



本社  
786セット

# 次世代食品流通業への進化を目指して

「食で創造する、持続可能な社会。」の具体的なご提案・披露の場

ダイヤモンドフェア2023

「新時代」パートナー宣言。



## ダイヤモンドフェア2023

食で創造する、持続可能な社会。





1. 会社概要／事業内容

2. 事業戦略

3. 業績・株主還元

## 2024年3月期 通期業績予想

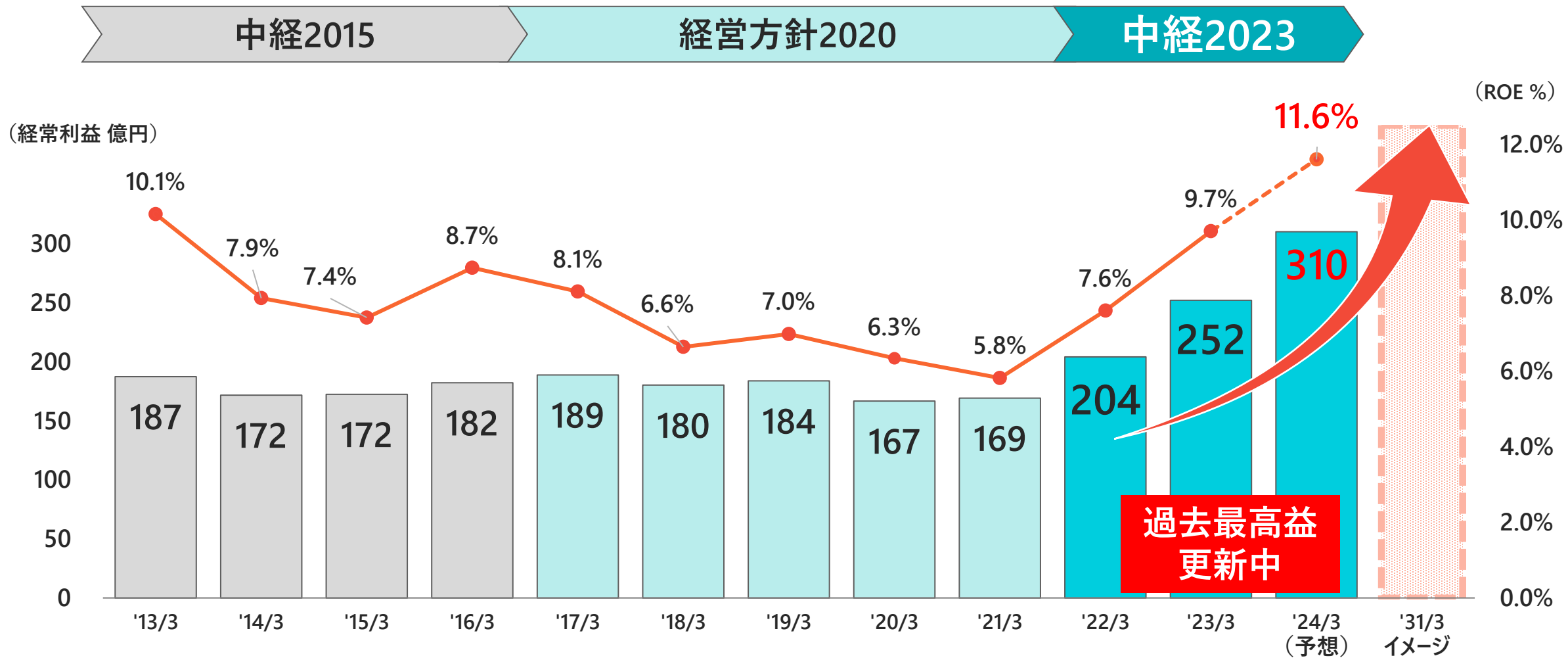
売上高・利益面においては、本格的な人流回復により業務用やC V S等を中心に取引が伸長し増収増益  
 足元の業況を踏まえ、期初に公表した予想を上回る業績が見込まれるため、通期業績予想を修正  
 経常利益は260億円から過去最高の**310億円**に上方修正

(単位:億円)

	23.3期 通期実績	24.3期 通期連結業績予想		前期比増減		期初予想比
		期初予想	修正予想	額	率(%)	額
売上高	19,968	20,200	20,800	832	4.2	600
営業利益	234	243	290	56	23.8	47
経常利益	252	260	310	58	23.0	50
親会社株主に帰属する 当期純利益	171	175	220	49	28.5	45

# 新たな成長軌道へ

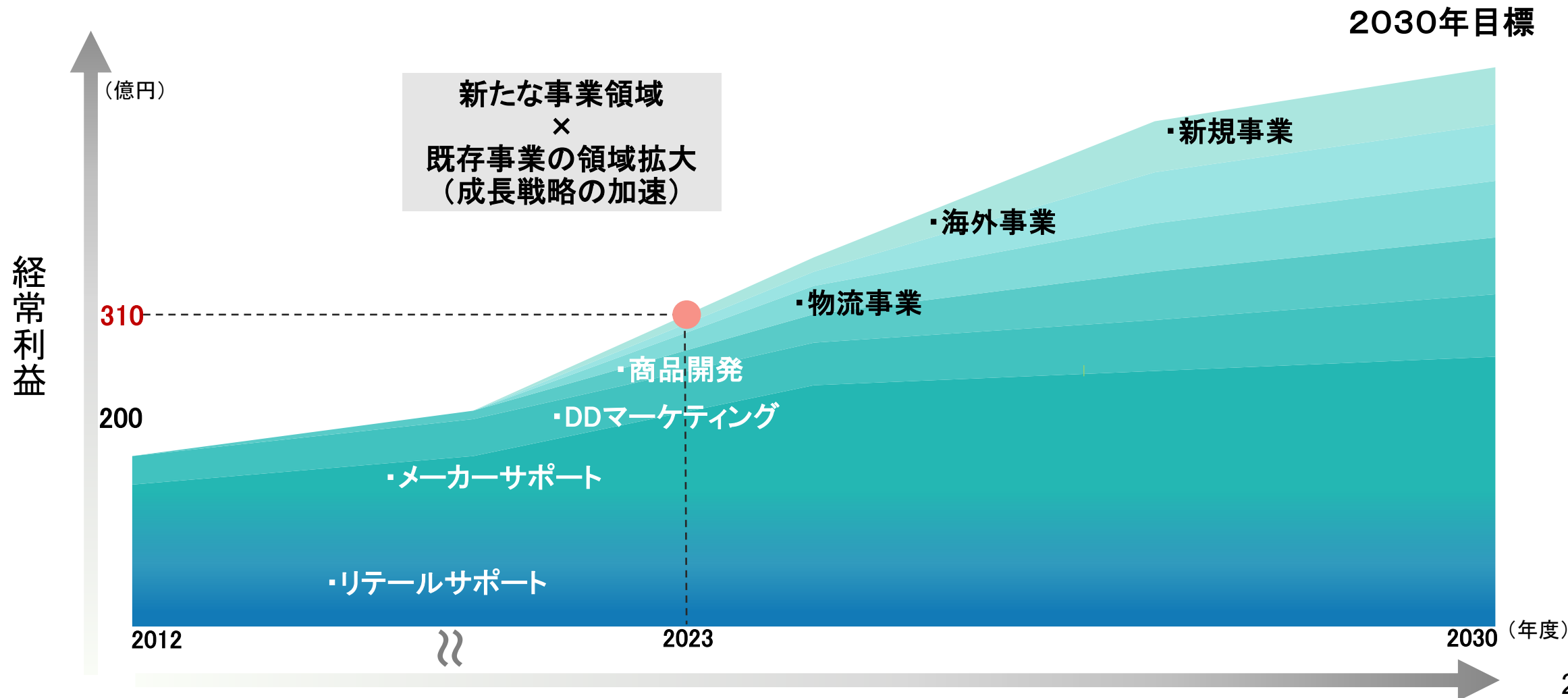
'13/3～'21/3：物流コストの高騰に加え基幹システム刷新や大型物流センターの先行投資が重なり収益性低下  
'22/3～'24/3：収益レベルは一段上の「第2(成長)ステージ」へ、ROEも**11.6%**と、二桁の大台を超える見込み



# 次期経営方針「2030年目標」について

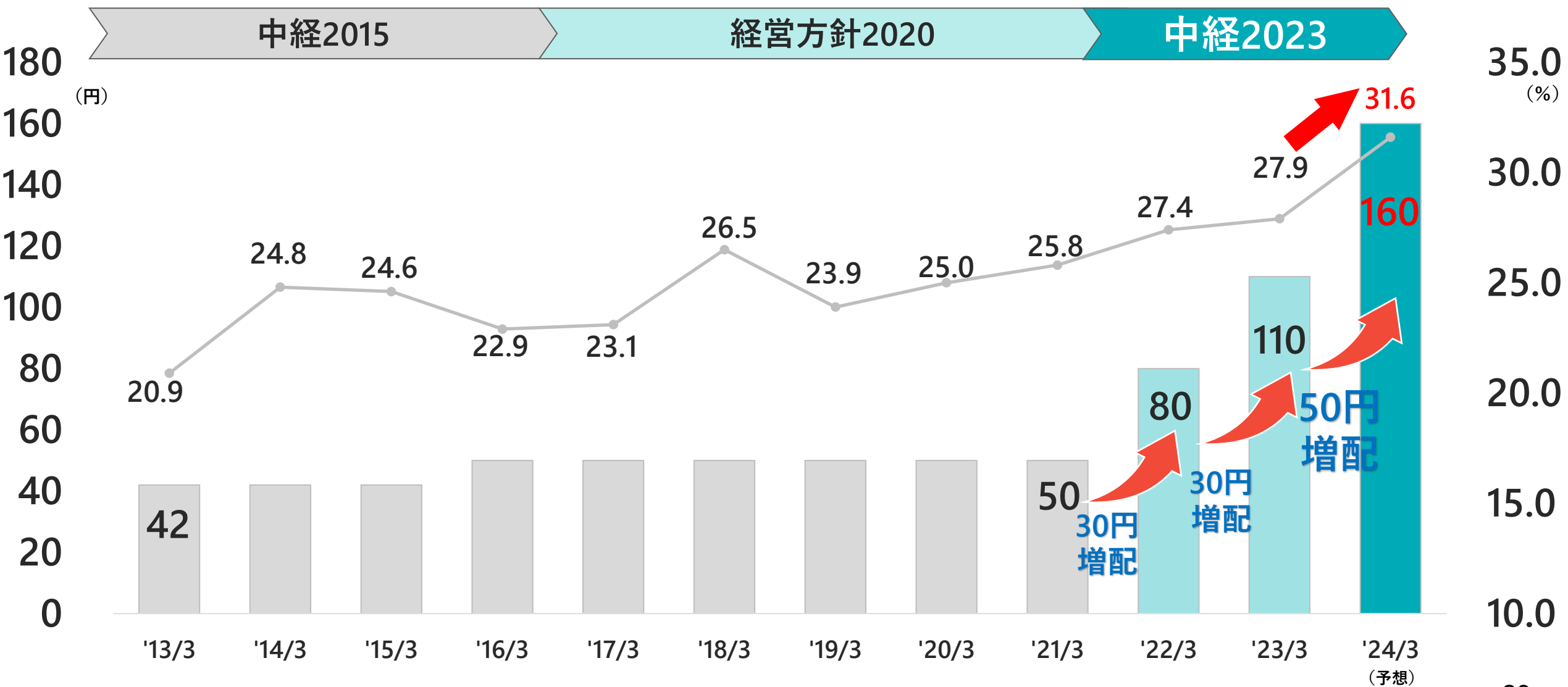
「中経2023」を経て、安定収益基盤は300億円規模に拡大（経常利益）

「次期経営方針」では、新たな事業領域・成長分野への投資や人員シフトを加速することで持続的な安定収益の拡大を目指す



# 配当予想/配当性向

「中経2023」の方針に基づき1株当たり配当額は大きく増加、今後も積極的な株主還元を継続する  
24年3月期年間配当額は160円とし3期連続増配、配当性向は30%超となる見込み



# 株価推移（2020年11月1日～2023年12月11日）

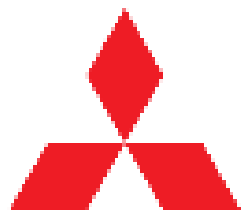
(株価/円)



## 三菱食品は皆さまの食生活を支えています



- ✓ 日本の食文化の維持・発展に貢献し、必要不可欠な社会インフラとして、食のサプライチェーンの中心的役割を担い、業界全体の最適化・効率化に取り組んでまいります。
- ✓ また中長期にわたる安定成長と株主還元の拡充に注力し、より多くの投資家の皆さまにご注目いただけるよう努めてまいります。



# 三菱食品

- 本資料は、弊社が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成されていますが、明示、黙示に関わらず内容の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容は、一般的な事項を記載したものであり、記載の内容に従って、お客様が実際に実務を遂行された場合、その期待される効果等が得られないリスクがございます。
- ご検討に際し、今後の制度改正の動きに加え、具体的な実務動向や法解釈の動き、及びお客様の個別の状況等に十分ご留意いただき、また、税務・会計・法務等に係る事項については、所轄の税務署や、弁護士、公認会計士、税理士等の専門家にご相談の上、お客様の最終判断をもってご対応いただきますよう、お願い申し上げます。



# Appendix



# 損益計算書

(単位：億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	21,519	23,189	23,882	23,373	23,831	24,115	25,134	26,203	26,547	19,794	19,556	19,968
前年比	17.1%	7.8%	3.0%	▲2.1%	2.0%	1.2%	4.2%	4.3%	1.3%	－	▲1.2%	2.1%
売上総利益	1,792	1,681	1,664	1,648	1,688	1,711	1,757	1,819	1,770	1,356	1,352	1,474
前年比	18.5%	▲6.2%	▲1.0%	▲0.9%	2.4%	1.4%	2.7%	3.5%	▲2.7%	－	▲0.3%	9.1%
利益率	8.3%	7.2%	7.0%	7.1%	7.1%	7.1%	7.0%	6.9%	6.7%	6.9%	6.9%	7.4%
販売費及び一般管理費	1,610	1,511	1,507	1,495	1,519	1,533	1,590	1,651	1,616	1,200	1,161	1,240
営業利益	182	170	157	153	169	178	167	167	154	156	190	234
前年比	25.9%	▲6.3%	▲8.0%	▲2.7%	10.7%	5.6%	▲6.3%	0.2%	▲8.1%	1.6%	21.9%	23.1%
利益率	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	0.8%	1.0%	1.2%
経常利益	198	187	172	172	182	189	180	184	167	169	204	252
前年比	26.2%	▲5.4%	▲8.3%	0.3%	5.7%	3.6%	▲4.6%	2.0%	▲9.3%	1.4%	20.5%	23.7%
利益率	0.9%	0.8%	0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	0.7%	0.7%	0.6%	0.9%	1.0%	1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	123	115	97	98	125	124	108	120	114	111	139	171
前年比	71.5%	▲6.6%	▲15.8%	1.0%	28.1%	▲0.8%	▲12.8%	10.8%	▲4.6%	▲2.9%	25.9%	22.8%
利益率	0.6%	0.5%	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.4%	0.6%	0.7%	0.9%
1株当たり 当期純利益（円）	232.70	200.78	169.02	170.67	218.63	216.86	189.01	209.39	199.67	193.87	292.31	393.93
1株当たり配当金（円）	40.00	42.00	42.00	42.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	80.00	110.00

2013年度よりセンターフィの処理方法を変更したことにより、2012年度の売上総利益、販売費及び一般管理費については組替後の数値となっております。  
2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の実績を組替えております。

# 貸借対照表

(単位：億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
<b>流動資産</b>	4,567	4,811	4,645	4,568	4,797	4,990	5,590	5,672	5,319	5,324	5,148	5,538
現金及び預金	44	26	5	4	3	16	25	4	3	4	2	4
受取手形及び売掛金	2,952	2,944	2,858	2,686	2,786	2,821	3,307	3,393	3,175	3,082	3,177	3,380
<b>固定資産</b>	1,327	1,258	1,185	1,204	1,197	1,215	1,342	1,437	1,490	1,519	1,503	1,537
有形固定資産	793	747	711	679	623	620	680	761	789	782	795	831
無形固定資産	72	67	62	88	147	181	172	186	189	193	186	179
投資その他の資産	461	444	412	437	427	414	491	491	513	544	523	527
<b>資産合計</b>	<b>5,894</b>	<b>6,069</b>	<b>5,830</b>	<b>5,772</b>	<b>5,994</b>	<b>6,205</b>	<b>6,933</b>	<b>7,109</b>	<b>6,809</b>	<b>6,843</b>	<b>6,652</b>	<b>7,075</b>
<b>流動負債</b>	4,580	4,642	4,335	4,166	4,313	4,430	5,042	5,129	4,703	4,589	4,665	4,934
支払手形及び買掛金	4,078	4,068	3,776	3,605	3,711	3,837	4,440	4,503	4,068	3,958	4,025	4,219
<b>固定負債</b>	223	229	234	216	200	198	214	220	266	284	284	315
<b>負債合計</b>	<b>4,803</b>	<b>4,871</b>	<b>4,569</b>	<b>4,382</b>	<b>4,512</b>	<b>4,628</b>	<b>5,256</b>	<b>5,348</b>	<b>4,969</b>	<b>4,873</b>	<b>4,949</b>	<b>5,249</b>
<b>株主資本</b>	1,064	1,153	1,225	1,321	1,423	1,516	1,597	1,688	1,774	1,856	1,613	1,742
<b>純資産合計</b>	<b>1,091</b>	<b>1,198</b>	<b>1,261</b>	<b>1,390</b>	<b>1,481</b>	<b>1,577</b>	<b>1,677</b>	<b>1,761</b>	<b>1,840</b>	<b>1,970</b>	<b>1,703</b>	<b>1,826</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,894</b>	<b>6,069</b>	<b>5,830</b>	<b>5,772</b>	<b>5,994</b>	<b>6,205</b>	<b>6,933</b>	<b>7,109</b>	<b>6,809</b>	<b>6,843</b>	<b>6,652</b>	<b>7,075</b>

# キャッシュ・フロー計算書・ROE

(単位：億円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	272	171	▲82	198	228	230	183	163	23	238	193	245
税金等調整前当期純利益	160	186	163	158	187	183	162	174	170	167	202	250
減価償却費	61	64	62	61	63	62	69	80	94	100	110	117
売上債権の増減額(▲は増加)	▲287	8	86	172	▲115	▲38	▲435	▲86	218	96	▲95	▲123
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲3	▲37	▲30	12	▲1	▲21	▲100	▲23	41	▲17	▲23	▲73
仕入債務の増減額(▲は減少)	353	▲10	▲292	▲171	125	132	553	63	▲435	▲113	67	123
投資活動によるキャッシュ・フロー	1	40	▲5	▲33	▲31	▲56	▲163	▲167	▲110	▲63	▲118	▲112
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲81	▲44	▲45	▲45	▲44	▲45	▲56	▲44	▲44	▲52	▲396	▲57
現金及び現金同等物の期末残高	614	782	650	770	922	1,052	1,016	968	838	961	640	715
フリー・キャッシュ・フロー	273	211	▲86	165	197	174	20	▲4	▲87	176	75	133
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ROE (%)	13.1	10.1	7.9	7.4	8.7	8.1	6.6	7.0	6.3	5.8	7.6	9.7
売上高当期純利益率 (%)	0.6	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.4	0.6	0.7	0.9
総資産回転率 (回)	4.46	3.88	4.01	4.03	4.05	3.95	3.83	3.73	3.81	3.78	2.90	2.91
自己資本比率 (%)	18.2	19.6	21.4	23.9	24.7	25.4	24.2	24.8	27.0	28.8	25.6	25.8

2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高当期純利益率を組替えております。

# セグメント別業績

(単位：億円)

		2019年度		2020年度(組替前)		2020年度(組替後)		2021年度		2022年度	
		金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
加工食品	売上高	8,050	0.4%	8,058	0.1%	6,841	—	6,701	▲2.0%	6,592	▲1.6%
	営業利益	28	▲18.8%	37	33.4%	37	—	47	27.5%	58	22.8%
	営業利益率	0.3%		0.5%		0.5%		0.7%		0.9%	
低温食品	売上高	10,370	▲0.8%	9,563	▲7.8%	5,547	—	5,422	▲2.3%	5,795	6.9%
	営業利益	68	▲19.6%	72	6.4%	72	—	92	27.2%	124	34.4%
	営業利益率	0.7%		0.8%		1.3%		1.7%		2.1%	
酒類	売上高	4,935	6.1%	4,859	▲1.5%	4,690	—	4,711	0.4%	4,832	2.6%
	営業利益	32	55.3%	39	23.4%	39	—	37	▲4.3%	37	▲1.7%
	営業利益率	0.6%		0.8%		0.8%		0.8%		0.8%	
菓子	売上高	3,167	3.7%	3,093	▲2.3%	2,695	—	2,696	0.0%	2,725	1.1%
	営業利益	36	▲5.8%	26	▲29.9%	26	—	30	17.7%	31	4.3%
	営業利益率	1.1%		0.8%		0.9%		1.1%		1.2%	
その他・調整	売上高	24	0.5%	203	—	21	—	26	—	24	—
	営業利益	▲10	—	▲18	—	▲18	—	▲16	—	▲15	—
売上高合計		26,547	1.3	25,776	▲2.9	19,794	—	19,556	▲1.2	19,968	2.1

2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高実績を組替えております。

注：2020年度以外は、次年度でアップデートされた区分により集計された数値を掲載

# 品種別売上高

(単位：億円)

	2019年度		2020年度(組替前)		2020年度(組替後)		2021年度		2022年度		
	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	構成比 (%)
缶詰・調味料類	2,827	0.5	2,893	2.3	2,432	－	2,384	▲2.0	2,392	0.3	12.0
麺・乾物類	1,629	1.7	1,615	▲0.9	1,458	－	1,407	▲3.5	1,426	1.3	7.1
嗜好品・飲料類	2,927	0.7	2,884	▲1.5	2,328	－	2,317	▲0.5	2,212	▲4.5	11.1
菓子類	3,180	3.4	3,273	2.9	2,686	－	2,689	0.1	2,719	1.1	13.6
冷凍・チルド食品類	9,738	▲1.3	8,892	▲8.7	4,681	－	4,520	▲3.4	4,773	5.6	23.9
ビール類	2,562	7.1	2,492	▲2.7	2,449	－	2,476	1.1	2,532	2.3	12.7
その他酒類	2,198	4.4	2,165	▲1.5	2,040	－	2,021	▲1.0	2,081	3.0	10.4
その他	1,486	3.1	1,563	5.1	1,720	－	1,743	1.3	1,833	5.2	9.2
合計	26,547	1.3	25,776	▲2.9	19,794	－	19,556	▲1.2	19,968	2.1	100.0

2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高実績を組替えております。

注：2020年度以外は、次年度でアップデートされた区分により集計された数値を掲載

# 業態別売上高

(単位：億円)

	2019年度		2020年度(組替前)		2020年度(組替後)		2021年度		2022年度		
	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	金額	前年比 (%)	構成比 (%)
卸売	2,335	3.6	1,973	▲15.5	1,589	—	1,670	5.0	1,977	18.4	9.9
スーパーマーケット	10,807	▲2.0	10,998	1.8	10,030	—	9,680	▲3.5	9,443	▲2.5	47.3
コンビニエンスストア	8,606	1.0	7,833	▲9.0	3,591	—	3,617	0.7	3,702	2.4	18.6
ドラッグストア	1,539	24.8	1,590	3.3	1,576	—	1,554	▲1.4	1,667	7.2	8.3
ユーザー※1	640	▲0.8	554	▲13.4	396	—	331	▲16.5	427	29.1	2.1
その他直販※2	1,987	6.0	2,251	13.3	2,185	—	2,256	3.2	2,235	▲0.9	11.2
メーカー・他	632	▲2.8	576	▲8.9	426	—	448	5.1	517	15.5	2.6
合計	26,547	1.3	25,776	▲2.9	19,794	—	19,556	▲1.2	19,968	2.1	100.0

2021年度より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、2020年度の売上高実績を組替えております。

※1：ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者

※2：その他直販はディスカウントストア・EC事業者・ホームセンター・百貨店等